

下諏訪町は「かぞくて学ぶSDGsワークショップ」を開く。町内在住の小学1〜3年生の親子8家族(各回)が対象で、身近な「家事」をテーマにSDGs(持続可能な開発目標)について楽しく学ぶ。参加費無料。同町は今年度、「下諏訪町地球温暖化対策実行計画」(2023〜30年度)を策定予定で、23年度以降、住民・事業者・町が一体となった取り組みを本格的にスタートさせる。計画に先立ち、今回は信州環境力レジ運営事務局と初めて協働し、子どもたちにもSDGsに関心を

「家事」テーマにSDGsを学ぼう

町が小学生低学年の親子向けWS

持つてほしい」と企画した。2月12日に「買い物編」を開く。

初回は15日に終了。第2回は

買い物ゲームを通して家庭にも

地球にも優しい

買い物のこつを

学ぶ。講師は戸

井田由奈さん

(NPO法人長



小学生低学年の親子向けのSDGsワークショップへの参加を呼び掛ける下諏訪町生活環境係職員



野県NPOセンター)。第3回は

3月4日に「ごみ捨て編」を開

く。コンポストを作り生ごみを

堆肥化する仕組みを学ぶ。講師

は町生活環境係職員。いずれも

午前10時〜11時30分。会場は下

諏訪総合文化センター。

町生活環境係担当者は「気軽に

に楽しみながらできることを見

つけてほしい」と呼び掛けてい

る。

申し込みは町ホームページ

または専用フォームQR

コードへ。問い合わせは同

係(電話27・1111、内

線141)へ。